

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

今立郡池田町立池田中学校 校長 清水 誠

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地域（7名） 教育委員(2) 社会福祉協議会(1) 民生・児童委員(1) 地域コーディネーター:教委事務局(3)	
家庭（5名） 小・中PTA会長 保護者(幼・小・中)	学校（5名） 小・中校長・教頭 こども園主幹教諭

(2) 協議会の開催計画

開催回数・日程

年2回（6月25日・2月18日）

協議内容

- ・活動方針、活動内容（6月）
- ・教育計画、地域と進める体験（同）
- ・学校評価計画（同）
- ・本年度の教育活動（2月）
- ・学校評価の結果（同）
- ・協議会の活動の振り返り（同）

(3) 協議会における成果と課題

本年度から町教委事務局に学校教育グループが位置づけられ、本校の地域コーディネーターの役割も担っていただいている。後述する「むらの遊び収集調査」や2年生の職場体験学習を実施するにあたり、地域資源や地域人材の活用に関する事務から当日の運営補助まで、多大な支援をいただいた。この体制を維持し協力関係を継続していくことが次年度の課題である。

2 地域と進める体験活動「むらの遊び収集調査」

(1) 活動のねらい

地域の方々と学校が協力して、課題解決型の体験活動を実施し、池田の暮らしや自然との関わりを学ぶとともに、学生のサポートを得て調べ方や学び方を身につけ、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てる。

(2) 活動の実際

昔遊びを知るお年寄りにインタビュー調査を行い、二世前まで伝承されていた村の遊びを後世に伝えるための記録として成果物を残す。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

むらの遊び収集調査は、早稲田大学教授高野孝子氏の指導を受けて実施するプロジェクト学習である。調査時のサポーターとして同大学生が参加するので、地域コーディネーターには、高野氏と学生の招致に関わる煩雑な事務や調査当日の人的支援を担当していただいた。

(4) 特に工夫した事項

東京を拠点に活動する指導者・学生との協働によるプロジェクトであるが、学校、町教委の担当者が電子メールを活用して詳細な打合せを重ね、成功裏に終えることができた。また校内発表会では、遠隔授業研修システムを活用して早稲田大学と本校の発表会場を結び、高野氏や学生諸氏からのコメント等をいただくことができた。

